

「授業年間計画表」（シラバス）

令和5年度版

教科・科目		教科	科 目	単位数	履修学年
		地域創生（学）	地域探究	1 単位	2 年 全 コース
目 標		郷土の産業や文化を知り、地域の方と関わるにより豊かな人間性を育む。 ・ 地域の環境や社会的現状を学び、自分や家族、学校や地域社会が置かれている現状について認識する。 ・ 地域の良さや課題・問題点を主体的に捉え、その解決に向けて積極的に関わろうとする態度を養う。 ・ 地域の様々な業種や立場、世代を超えた人々の関わりを持つことで、社会における自己の役割やこれからの生き方を考える			
使用教材		プリント、視聴覚教材、外部講師による講演			
評価の観点・評価規準	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	郷土の産業や文化に関する基本的な知識を定着させ、理解を深めることができるか。		問題意識を持って、自ら考えようとしているか。自己の考えや思いを他者に的確に伝えたり、表現することができるか。	授業に対して積極的に取り組もうとしているか。前向きな態度で取り組んでいるか。	
評価方法		レポート（授業の目的や内容の理解）、態度（積極的に関わろうとする姿勢）、発表（内容の理解、表現力）など 例）評価基準 ①主体性 ②課題認識 ③客観性・多面性 ④論理性 ⑤表現力 ⑥独自性 などを考慮する。			
学期	学習内容		学習のねらい		学習活動
1	オリエンテーション ・ 南伊勢町の現状や課題の理解 ・ 自己理解		・ 講演を通じて、南伊勢町の現状や課題を理解する。 ・ 自分の生き方・考え方を見つめる。		・ 講演（町長や町の担当者）
	地域産業を知る（漁業関係） 地域創生の取り組みについて		・ 講演やフィールドワーク、インターネット等を通じて、就業に対するやりがいや誇り、職業に対する問題点や課題を理解する ・ 話し合いや発表を通じて、課題解決能力を身につける。		・ フィールドワーク ・ 講義 ・ 講演（大学教授）
2	地域の産業を知る（観光関係）		・ 地域の観光産業の取り組みについて理解を深め、町の魅力について再発見する。 ・ 自らの生き方を照らし合わせ、課題解決能力を身につける。		・ フィールドワーク ・ 講義
	地域の高齢者との交流（福祉関係） 地域産業を知る（農業関係）		・ 地域の高齢者との交流を通して、世代を超えた人々の思いや考えを主体的に聞き取り、共感しながらコミュニケーションをとる能力を養う。 ・ 講演やフィールドワーク、話し合いを通じて、就業に対するやりがいや誇り、職業に対する問題点や課題を理解する。		・ 演習 ・ フィールドワーク ・ 講義
3	地域産業を知る（林業関係）		・ 講演やフィールドワーク、インターネット等を通じて、就業に対するやりがいや誇り、職業に対する問題点や課題を理解する		・ 講義 ・ フィールドワーク
	町の活性化事業（空き家活用制度） 地域創生の取り組みについて		・ 空き家の現状について知り、その活用と移住制度を知り、地域のよさや課題・問題点を主体的に捉え、自らの生き方について考える。		・ 講演（大学教授）
学習上の留意点	・ 地域の産業の魅力について調べたり体験することを通じて、地域が抱える課題や改善点を把握・整理する力を養うとともに地域の人々や大学教授等から多面的なものの見方や考え方を学ぶ。				

「授業年間計画表」（シラバス）

令和5年度版

教科・科目		教科	科 目	単位数	履修学年
		地域創生（学）	地域課題研究【選択履修】	2 単位	3 年 A コース
目 標		郷土の産業や文化を知り、地域の方と関わることにより豊かな人間性を育む。 地域が直面する様々な困難に対し、地域と協働し地域創生を進めるリーダーを育成する。 ・地域の環境や社会的現状を学び、自分や家族、学校や地域社会が置かれている現状について認識する。 ・地域のよさや課題・問題点を主体的に捉え、その解決に向けて積極的に関わろうとする態度を養う。 ・地域の様々な業種や立場、世代を超えた人々の関わりを持つことで、社会における自己の役割を考え、自らの人生を切り拓く力を養う。			
使用教材		プリント、視聴覚教材、外部講師による講演			
評価の観点・評価基準		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
		授業に対して積極的に取り組もうとしているか。前向きな態度で取り組んでいるか。	問題意識を持って、自ら考えようとしているか。	自己の考えや思いを他者に的確に伝えたり、表現することができるか。	郷土の産業や文化に関する基本的な知識を定着させ、理解を深めることができるか。
評価方法		レポート（授業の目的や内容の理解）、態度（積極的に関わろうとする姿勢）、発表（内容の理解、表現力）など 例）評価基準 ①主体性 ②課題認識 ③客観性・多面性 ④論理性 ⑤表現力 ⑥独自性 などを考慮する。			
学期	学習内容		学習のねらい		学習活動
1	オリエンテーション ・南伊勢町の現状や課題の理解 ・自己理解		・講演を通じて、南伊勢町の現状や課題を理解する。 ・自分の生き方・考え方を見つめる。		・講演（町長や町の担当者）
	地域産業を知る（漁業関係）		・講演やフィールドワーク、インターネット等を通じて、就業に対するやりがいや誇り、職業に対する問題点や課題を理解する ・話し合いや発表を通じて、課題解決能力を身につける。		・フィールドワーク ・講義
	地域創生の取り組みについて				・講演（大学教授）
2	地域の産業を知る（観光関係）		・地域の観光産業の取り組みについて理解を深め、町の魅力について再発見する。 ・自らの生き方を照らし合わせ、課題解決能力を身につける。		・フィールドワーク ・講義
	地域の高齢者との交流（福祉関係）		・地域の高齢者との交流を通して、世代を超えた人々の思いや考えを主体的に聞き取り、共感しながらコミュニケーションをとる能力を養う。		・演習
	地域産業を知る（農業関係）		・講演やフィールドワーク、話し合いを通じて、就業に対するやりがいや誇り、職業に対する問題点や課題を理解する。		・フィールドワーク ・講義
3	2年間のまとめ		・2年間学んだことをもとに地域を活性化し、持続可能な社会について対話や議論を通じて、新しい地域づくりを模索するとともに、自らの生き方にどのように活かしていくか考える。		・座談会（町長・町の担当者）
学習上の留意点		・地域の産業の魅力について調べたり体験することを通じて、地域が抱える課題や改善点を把握・整理する力を養うとともに地域の人々や大学教授等から多面的なものの見方や考え方を学ぶ。			